

展覧会の御案内

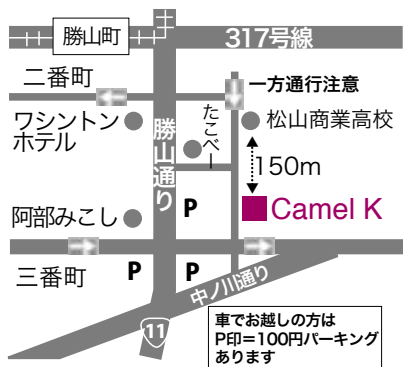
Ueshima Lyoshu
上島令嵩 仏画展

Camelk

ギャラリーキャメルK
〒790-0877愛媛県松山市錦町33-3
☎ (089) 913-2002
<http://camelk.daa.jp/>

会期 八月 四日 土 六日 月
会場 ギャラリーキャメルK

※午前十一時～午後六時 (最終日は午後五時閉場)
※初日のみ午後二時会場



「阿修羅像」
シルクスクリーン
1200×500mm



「大仏さん」



作家近影
自宅版画工房にて

破天荒な上島仏画の全容

1994年の国際コンペ・読売国際漫画大賞作家として知られる松山市在住の上島さんが10年にわたって描きためてきた圧倒的な迫力を湛える仏画を発表する。

大画面一杯にうねるような色と形の怒濤のリズムが見るものに迫ってきて、鑑賞者を圧倒する。今まで描かれたどの作家のどの作品にも似ていない、オリジナリティーに溢れて、仏画の既製のイメージを一新する作品である。

画面に描かれた仏の顔や手の表情や位置には独得の凝縮感があり、人間の限界を超えた仏の力をよく表しているように思える。

視覚のトリック

また見るものに不思議さとめまいを誘う世界があることも上島仏画の特徴かもしれない。16世紀イタリアの画家、ジュゼッペ・アンチンボルドや日本の浮世絵絵師・国芳の絵を見たときに感じる不思議な視覚のトリックがもたらす絵画の愉しさの醍醐味を感じることができる。

また、上島仏画はどことなくユーモラスな印象も特徴的で、身振りの大きい画面だけれど見せかけではない作者の優しい人柄が伝わってきて落ち着いてみる事が出来る。

技法は上島さんのスタイルであるシルクスクリーン版画だ。とても版画とは思えない重厚な質感にも驚かされる。

そして、漫画作家ならではの面目として展示される絵の中に〈仕掛け〉が隠されている作品も展示されるそうだ。会場に行けば自分の眼で確かめられるので楽しみが倍増するのではないだろうか。

作品点数15点～20点



「お地藏さん」



「弥勒さん」

独学の画人の自在な世界

関西育ちの上島さんは絵に関しては棟方志功等の画家と同様、全くの独学で先生の指導は受けていないそうだ。松山の仕事場で出会ったシルクスクリン版画の実用技法を使った表現に関わったのをきっかけに創作の道に入られたそうだ。

漫画に筆力・アイデア兼備の才能がいる。絵には「説明」が大敵。二つの異なる世界を一人で自在に歩まれてきた上島さん。明治の初めに結成された歴史ある「太平洋画会」にしばらく所属されていたが、2001年に離れ、名実共にフリーになった上島さんの今後が楽しみです。

略歴

- 1937 大阪に生まれる
- 1960 関西大学卒
- 1984 関西大学100周年記念キャラクター 佳作賞受賞
- 1994 読売国際漫画大賞 大賞受賞
第10回現代版画コンクール展（大阪）入選
大田国際漫画大賞展（韓国）入選
太平洋美術展 大阪府知事賞受賞
- 1995 太平洋美術展 読売新聞社大阪本社賞受賞
第41回関西美術展（大阪）入選
太平洋美術会賞受賞
- 1996 第11回現代版画コンクール展（大阪）入選
大田国際漫画大賞展（韓国）入選
太平洋美術会 奨励賞受賞
- 1997 大田国際漫画大賞展（韓国）入選
- 1999 太平洋美術会入会
- 2001 太平洋美術会退会
大田国際漫画大賞展（韓国）入選
三浦美術館大賞展 入選